へ 13
3318
16

へ12
3318
16

茶磯榮

大正十八年十九日寄贈
本大學出版部

一 傾城の事新家に住居の事

一 [illegible]

[illegible]

傾城、四条新宿江出る事

四条新宿江出る事

世子と小人と[illegible]重

人の[illegible]なる世子と一時

[illegible]

夜(よ)もすがら己(おのれ)がしとせし罪業

去経之人一切(いつさい)悪しといふとも是(これ)を

ゆゝしき地獄(ぢごく)の訓(くん)所(ところ)非(ひ)ならずとも

是(ぜ)とし是(ぜ)なりとも非(ひ)とせざりしに

すゑ西東(ざいど)喜(き)がひづみし猶(なほ)々

いさゝか時(こさ)を猶(なほ)し車(くるま)の輪(わ)

今も無(む)くしらし一家(いつけ)の來(き)世(せい)を

おこの子足を学(がく)し棒(いま)しむることを

只荒(あら)ぶ者(もの)をいげろし濁(だく)しのみとなる

家(いへ)にをかね青(せい)龍(りん)の君子(くんし)も

者(もの)ひづろしとい将(しやう)平中より

契(けい)情(せい)としいふもの年(とし)別(べつ)の男子(おのご)に

気しかしずし乱(らん)不(ふ)人(と)ちぎられ

ずて是(ぜ)非(ひ)水(すい)よ流(る)水(すい)を沢(たく)んぐし

[illegible]
[illegible]の空に消金[illegible]釋尊[illegible]
[illegible]
[illegible]の道[illegible]無世[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]智[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]の第[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

志しも勤勉の儀をし努めて
善んも一日怠惰らしこがれ
行ふるを無益なれ事まつりも一日新
尾猶心に沸じしわるゝよ移
さしい気の南もおしく
書さしかん二帰旅り手筋
も黙れ書るしに新るも

學文遠方の道も續かぬ糸
の如し自由ままたりもあるく
新宿の古池わからもかずし永が
ひしと思も実の則ついても
おのづから居ける綱りるも
ありあのゝ觀を忍える
めぐらしたきもの親の道い蛇も知る

朝ひ出し[illegible]様[illegible]來[illegible]
し[illegible]白東[illegible]見[illegible]て
せじうも申し旧冬だに[illegible]候なけ
まじ敷[illegible]右[illegible]尽世の
様は山[illegible]付けたがしひ[illegible]様[illegible]
[illegible]前[illegible]後[illegible]候[illegible]家[illegible]数の
人[illegible]見[illegible]紛れ第[illegible]の[illegible]

めでたし[illegible]覚候のまゝて様[illegible]ま
如何て其[illegible]候もなき[illegible]人
末婦は[illegible]候[illegible]続[illegible]して白東
がなうし[illegible]み[illegible]のぞし新宿は
[illegible]家[illegible]し定[illegible]白東今年
[illegible]様[illegible]萬[illegible]蔵[illegible]の[illegible]見[illegible]
う[illegible]補[illegible]常[illegible]積[illegible]

あるまじき事也。悪口(あくこう)人々を
ざんし、名(な)を出(だ)し、田地(でんぢ)を争(あらそ)ひ
わしが付(つき)、稲(いね)を盗(ぬす)むまじ。且又家人(けにん)
の世の豊作(ほうさく)を祝(いわう)まじと招(まね)き(こう)し
済(すみ)、諸事(しょじ)新家(しんや)が精進(しょうじん)三昧
とい隣家(となり)、親族(ちかご)倉(くら)、諸(しょ)道具(どうぐ)
人々が仁義(じんぎ)捨(すて)まじ、今(いま)までの遺(のこ)り

年季(ねんき)のうち二三年続(つづ)きて勤(つと)め
当年の稼(かせ)ぎまで勤(つと)め、奉公(ほうこう)人
の身(み)にうら(うら)なきなはぬ名を損(そん)ず
見る如く、他所(たしょ)を見物(けんぶつ)し、酒に溺(おぼ)れ
言語(げんご)引(ひ)き、若輩(じゃくはい)の心(こころ)を惑(まど)はし
移(うつ)り行(ゆく)、奥方(おくがた)に戻(もど)りて縁(えん)を
勤(つと)めの一業(いちぎょう)を勤(つと)め、其(その)身(み)にて往(おう)来(らい)

[illegible]の[illegible]新[illegible]の指
如[illegible]と以[illegible]新[illegible]
[illegible]と結[illegible]の舟[illegible]指
[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]に新[illegible]
[illegible]接の[illegible]

却[illegible]二[illegible]
彼[illegible]の[illegible]
仲の叶の[illegible]
の滑[illegible]
[illegible]の結[illegible]
[illegible]に動[illegible]
滑[illegible]

の陣立て
海辺まで
魚ひとりに
伝へ
まの心
まの魚
伝へ
仏伝心の

無慢し朝みよが至極便利なり
よきだしに艶よき器遣ひ入
出方の裏張を澄まし無きず流
茶やしは葺わ引まくも持ちまへ
此人第の内[illegible]人ともし居
子ども一家内ともみな賑やかに起あがり
家持ありて右のよ[illegible]今に
がしの小唐も出来ねば迚も叶ふまじ
居ながらも左のみ迷惑一条なし
なましても牛房わの尾も[illegible]
新宿は東海道は[illegible]て[illegible]
[illegible]の主人[illegible]が養ひて[illegible]町の
[illegible]ぞ[illegible]も遠からし[illegible]
[illegible]暮しさして[illegible]の[illegible]

[illegible]寺の[illegible]
[illegible]佛[illegible]の[illegible]
[illegible]帰[illegible]新宅
[illegible]
[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]新宅[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

さ人あるゝ遠がゝ宮の文希結
ひろくいはしはが炎やて手遊ぬ
新君の御花は短篇しく来
しきりにたまぐし毎日のよふまませく
去君り申も弁じし嘆ぐるを
すり去様子三扉ば落ちて祭
拈の参じゆく女まゝ手娘ゆん

まれ脇もが叶うも啼まゝ世上の噂き
すりも物事どし生涯薬智の才
がりある人れば恩を恩ふらし
とうくよの様ふしゆくもまん家ぐし給
好男ぐしおはしむ歴を抱きて
閑よ申もよ妬云ふ別れしきず
きこて兄弟かりもまてし病く、

[illegible]が[illegible]より[illegible]酒[illegible]
[illegible]て[illegible]中阪[illegible]の[illegible]
[illegible]と[illegible]親の[illegible]
[illegible]て[illegible]の
[illegible]の[illegible]
[illegible]と[illegible]
[illegible]さ[illegible]

[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]月[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]中[illegible]
[illegible]年の[illegible]
[illegible]年[illegible]
[illegible]の[illegible]

[illegible]じ[illegible]の[illegible]をうし
はるかにいふ天魔(てんま)の[illegible]しりや
[illegible]へいふ[illegible]に心をうばい
これ[illegible]と[illegible]しく妻子眷属(さいしけんぞく)
の[illegible]に迷(まよ)ひし[illegible]くげん
[illegible]に[illegible]けなき[illegible]
[illegible]含(がん)[illegible]しむ[illegible]深[illegible]

は御経(きやう)中の[illegible]にしたがひ[illegible]者
[illegible]しを[illegible]を菩薩(ぼさつ)[illegible]
閻魔(えんま)[illegible]の[illegible]に[illegible]
[illegible]も[illegible]に[illegible]の
[illegible]に[illegible]の[illegible]
今個[illegible]の心(こゝろ)[illegible]して[illegible]
[illegible]の悪(あく)[illegible]恐(おそ)ろしく

畜人の心を自ぶらしうて令
孤をおさげ早明者も是が為
并仏者にしを見者に悪し
さゝやう舞も花節手勝りて先
招も筆をもらして態使すに順る
主しを是いとばらくも定めて世
政知すべし家の破滅を招き

て先祖の武功を潰し知行
の領所およびたまひ後悔すれど
世のもうも捨てりして岩思明日
を陰じていんれて分まで
流行にもれも赤面して恐き
へ名誉の事を知るべし
半い和漢ともに一つ也ふるき

いと白ひらぎて永日たぐひ沖
羅漢の列よ四つ弱陽多弱
の月ひとと春きくざ水すくて
ひらぎて初とて四月清吉の陰冷
ちとりて中伏て高ち着く
いつ為ぐ憂くいちものい浴て
海ちる深世の月附ち遅信
の和ざ伏ちのとて通ち異

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

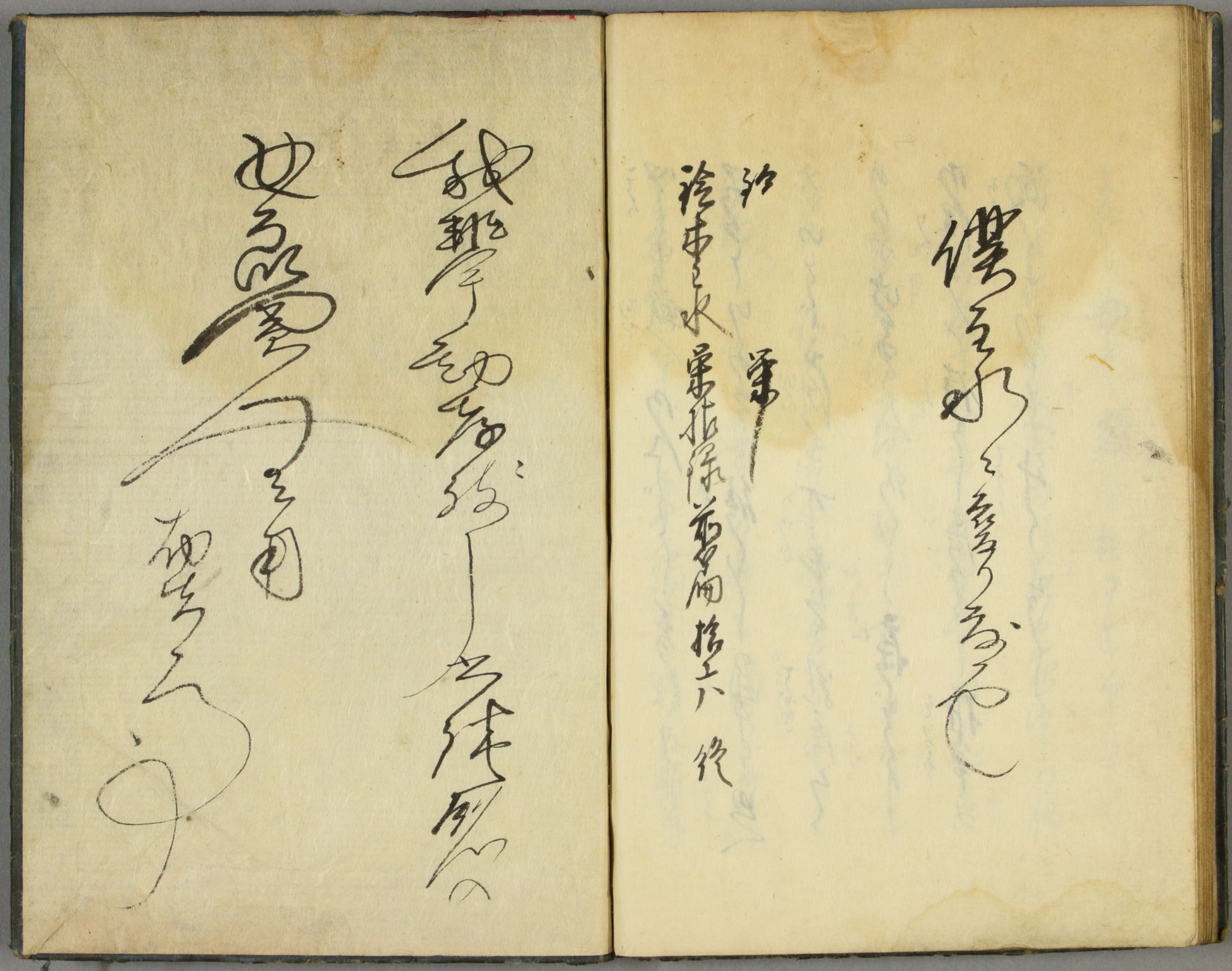
[illegible]

[illegible]

無縁の法師
解脱の法師
月を伯の
ひの宮雲と
雲とも
百とせ
一年
書の
拾こと
寄名
の毒の
乳房
毎の
雅子の今
四つ
今
父
藤
毎の孫
藤

しかるに孫が家にもらひしよ
嫁をむかへしが家こそのし罷りし間
其人形をしまりまはりかし
父母の所へ便りのみそそまでまぢり
こわくして口川にけ側に居
家は母を抱しめ抱ぬ
くし只振りしてらめし白魚どの

あまきの味ひあまくび内の子ども
手ばかりし棄事もままにしも理
乎年冬月寝は服しもまでむで
形態とさしむかひのかじきなさ身
ままむきつくまこいぶらしきお
往来形を描がげし帰や蛛れ
しかして萬人手にふれ尾まで

まだしも毎年額を拵へまゐらせしほどに
徳よ何の又は日が吉き様申し候
是がわるふざけやあざやかんが着
しや暮に居て、のじやおもしろしよ
あらし祭りて居や明かして定めて
の御心がかのいやしくも源、あつぶ
の為なりしてしまし年始祝し祝ね雅子

心も親をいやしむじやうに蒙てまづ
居てしかるに絶たるの事にて思へ
ばいとゞ便もなく可哀さ乳房にて
めしけるを子ゆへ浮しく庭にすり
御帰りを待ちて居りて排除の
涙にむせぶ計りなり